

どんな職業か

石工（いしく）の仕事は「石材採石」、「石積み」、「石材加工」、「石張り」などに分業されており、花こう岩、玄武岩、石灰岩などさまざまな岩石を採石場から切り出し、石材として整形加工し、独自の手法を用いて彫刻したり、研磨やつやだしなどを行って、墓石・石碑や建築材料などを制作する。

採石場では原石をジェットバーナーやスロットドリル、火薬などを用いて石を切り出す。

大きな石の塊を、「たがね」や「つち」などの道具で石積みに都合のよい形、大きさに割る。墨差しなどの道具を用いて、原石を必要とする大きさに割るための基本となる線や加工するための補助となる線などを引く。大型挽割機（ギヤングソー）や丸鋸（ダイヤモンドソー）などの石切機を運転操作して、大理石、花こう岩などを決められた寸法に切り、角石・板石などに製材する。石材の表面を手道具で平らに研磨し、つや出しを行う。建物や石碑、墓などに用いられる大理石、砂石、花こう岩に、「のみ」や「小べら」「サンド・ブラスト」などの道具で文字や模様を彫る（字彫り）。また、石仏、石橋、石灯籠、石鳥居、狛犬、記念碑やすずり等の石細工物を制作することもある。

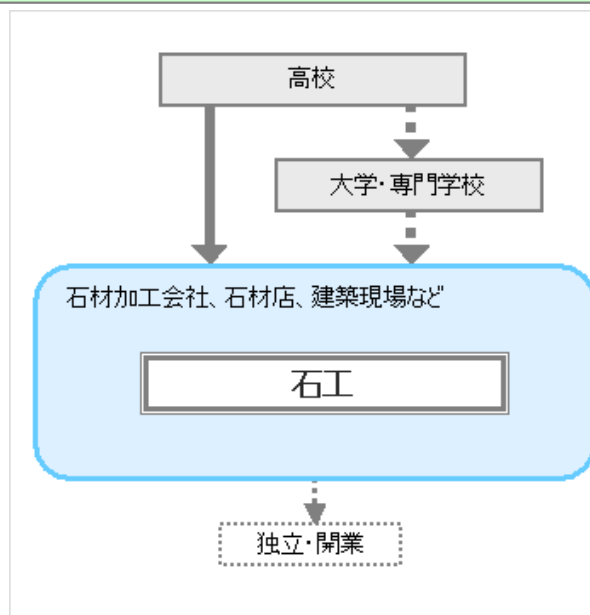
このほか、建物の外装やエントランスなどに装飾用の石材を取り付けたり、花こう岩、大理石、大谷石などの石材を積み重ねて、壁、柱、塀、石垣、堤防などの石材構築物を構築する。

就くには

入職にあたって、特に免許・資格・学歴は問われない。

石材加工会社や石材店に就職して経験を積む。関連資格としては、国の技能検定「石材施工」がある。

石材は重量があることから、それを動かす体力とケガを防ぐための注意力が必要である。また、一つ一つ異なる石の表情を活かして仕事をする石工には、職人としての技量や感性が求められる。



労働条件の特徴

石工の職場は石材加工会社や石材店、建築現場、採石場である。採石場は山間部に多く、石材店などの墓石小売業は寺や霊園の付近にあり、職場は全国にわたっている。

石工の作業には、屋外作業も多く、雨天の日は休日となることもある。土日に出勤することも多いが、週休2日制をとる場合が多い。朝から夕方までの勤務形態で、残業は少ない。

就業者は男性がほとんどを占めている。

石製品の輸入が増加しつつある中で、石工が生み出す石製品の美しさや石積みの堅牢さは、墓石にとどまらず、住宅、公園、ビル、和風伝統建築等にも欠かせないものであり、石工の労働需要は根強いとみられる。

参考情報

関連団体

日本石材産業協会

<http://www.japan-stone.org/>

茨城県石材施工技能士会

電話:0296-74-4166 FAX:0296-74-3104

稲田石材商工業協同組合

電話:0296-74-2049 FAX:0296-74-3797

関連資格

石材施工技能士